

株式会社カンセキ 第32期決算説明資料

2006年7月20日



株式会社カンセキ

平成18年2月期の総括

当社を取り巻く環境につきましては、小売業において業態を越えた企業間の競合がさらに激化するとともに、都市部と地方での経済格差は依然としてあり、当社にとりましても厳しい環境でありました。

このような環境の中、ホームセンター部門では館林店の全面リニューアルを実施しました。

また、新規店舗として、WILD-1を1店、業務スーパーを4店、オフハウスを3店、出店しました。

この結果、売上高は316億90百万円（前年比2.8%増）と増収となりましたが、利益面におきましては、新店舗のオープン時経費や人件費等の販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は6億47百万円（前年比1.4%減）、経常利益88百万円（前年比17.3%減）、当期純利益は51百万円（前年比117.7%増）となりました。

今期の主要トピックス

1. 新規オープン店舗

- (1) WILD-1 入間店 (平成17年3月19日オープン)
- (2) 業務スーパー 雀宮店 (平成17年3月17日オープン)
- (3) 業務スーパー 戸祭店 (平成17年4月7日オープン)
- (4) 業務スーパー 八幡店 (平成17年4月21日オープン)
- (5) 業務スーパー 小山店 (平成17年5月27日オープン)
- (6) オフハウス 新白河店 (平成17年3月18日オープン)
- (7) オフハウス 下館店 (平成17年5月20日オープン)
- (8) オフハウス 館林店 (平成17年9月7日オープン)

2. リニューアル・オープン店舗

ホームセンター 館林店 (平成17年7月1日オープン)

3. 閉店店舗

ホームセンター 日光店 (平成18年2月20日閉店)

今期の主要トピックス

補足資料



平成18年2月期貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

資産の部				負債/資本の部			
	今期	前期	前期比		今期	前期	前期比
流動資産	7,740	7,798	99.3%	流動負債	11,666	12,712	91.8%
たな卸資産	5,899	5,828	101.2%	短期借入金	5,200	7,659	67.9%
その他の流動資産	1,841	1,969	93.5%	一年以内返済予定			
固定資産	23,027	23,435	98.3%	長期借入金	2,482	1,094	226.7%
有形固定資産	17,347	17,490	99.2%	その他の流動負債	3,983	3,958	100.6%
無形固定資産	716	728	98.3%	固定負債	14,665	14,146	103.7%
投資その他の資産	4,963	5,216	95.2%	社債	449	280	160.4%
繰延資産	13	9	136.5%	長期借入金	12,341	12,051	102.4%
				その他の固定負債	1,875	1,814	103.3%
				負債合計	26,331	26,858	98.0%
				資本合計	4,450	4,384	101.5%
資産合計	30,781	31,243	98.5%	負債及び資本合計	30,781	31,243	98.5%

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成18年2月期損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	今 期	前 期	前期比	備 考
売上高	31,690	30,840	102.8%	WILD-1を1店舗、オフハウス3店舗、業務スーパー4店舗の新規出店による増加
売上総利益	8,374	8,152	102.7%	
販管費	9,134	8,895	102.7%	新規出店7店舗のイニシャルコスト増と、外形標準課税制度導入に伴う法人事業税の付加価値割・資本割の増加
営業利益	647	656	98.6%	
経常利益	88	106	82.7%	支払利息が前期に比べ、34百万円増加
当期純利益	51	23	217.7%	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	今期	前期	前期差
営業活動によるキャッシュ・フロー	633	364	998
投資活動によるキャッシュ・フロー	165	600	435
財務活動によるキャッシュ・フロー	592	524	1,116
現金及び現金同等物の増減額	124	441	316
現金及び現金同等物期首残高	1,076	1,518	441
現金及び現金同等物期末残高	952	1,076	124

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業活動によるキャッシュ・フローの内訳

- ・ 主に税引前当期純利益 8 2 百万円、減価償却費 5 億 2 0 百万円及び未払消費税等の増加額 4 6 百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローの内訳

- ・ 主に新規出店 7 店舗、店舗リニューアル 1 店舗などの有形固定資産取得による支出 4 億 9 百万円及び差入保証金・敷金の支出 7 7 百万円ではありますが、差入保証金・敷金の回収による収入 3 億 9 4 百万円との相殺後の純額であります。

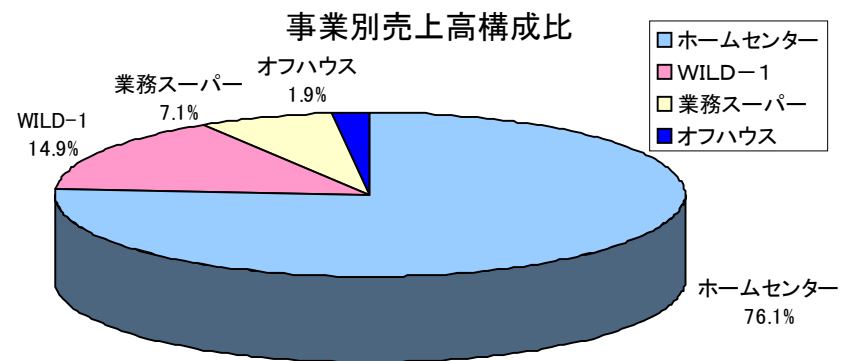
財務活動によるキャッシュ・フローの内訳

- ・ 主に社債の償還及び借入金の返済によるものです。

事業別売上高

事業		売上高(百万円)	前 期 比	構 成 比
ホームセンター	DIY用品	10,161	102.3%	32.1%
	家庭用品	6,450	95.9%	20.3%
	カー・レジャー用品	7,508	97.5%	23.7%
	計	24,120	99.0%	76.1%
WILD-1		4,703	103.2%	14.9%
業務スーパー		2,259	168.0%	7.1%
オフハウス		607	171.9%	1.9%
全 社 計		31,690	102.8%	100.0%

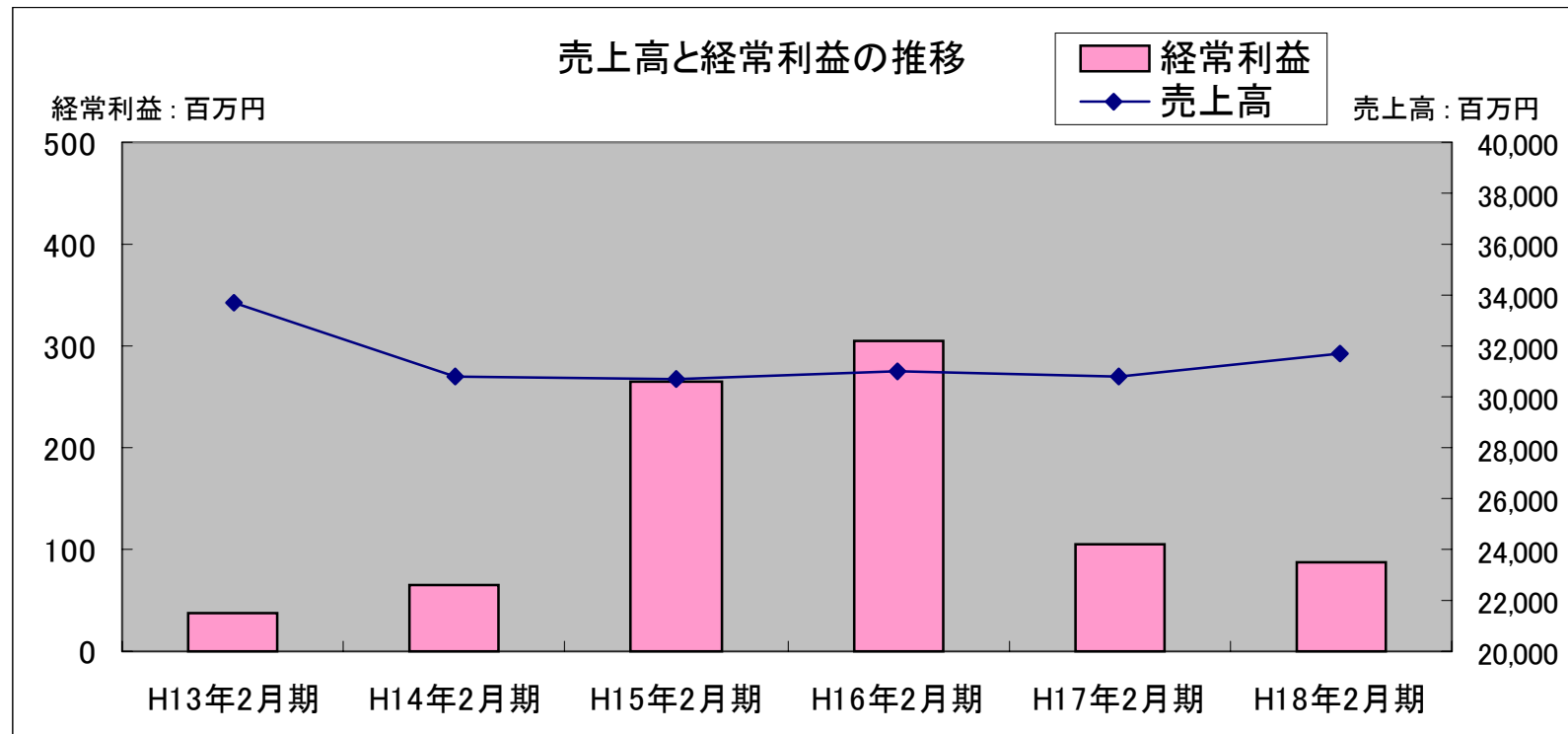
- 事業別の主な取扱商品は、次のとおりであります。
 - ・DIY用品 素材、金物、エクステリア、植物、園芸用品、住設機器 等
 - ・家庭用品 日用品、家庭用品、インテリア、菓子食品 等
 - ・カー・レジャー用品 カー用品、ペット用品、文具、スポーツレジャー用品、自転車 等
 - ・WILD-1 アウトドア用品
 - ・業務スーパー 業務用食材等
 - ・オフハウス リサイクル商品
- WILD-1事業、業務スーパー事業およびオフハウス事業の増加は、新規店舗増加によるものであります。



売上高・経常利益の推移

(単位:百万円)

	H13年2月期	H14年2月期	H15年2月期	H16年2月期	H17年2月期	H18年2月期
売上高	33,707	30,777	30,739	31,026	30,840	31,690
経常利益	38	65	266	304	106	88



ご注意

- 本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
- また、本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ
株式会社カンセキ 総務部
TEL 028-658-8123
FAX 028-659-3678